

校長室便り (NO. 16)

熊本県立甲佐高等学校

令和元年10月23日

夢実現 ～百見は一験に如かず～

【学年マッチ、大成功】

多くの学校では、学期末にクラスマッチが計画され、実施されていますが、本校では、昨年から夏の暑さを避ける目的からも、2学期の最初に学年マッチが行われています。クラスはもとより、学年が一体となり、それぞれの学年が学校を引っ張っていく意識を高めるためにも、貴重な



学校行事です。生徒たちからの要望も有り、今年は新しく



バドミントンの種目が取り入れられました。本校の特色の一つが何と言っても機動力のあるところです。このように、生徒たちからの要望が叶い、スムーズに実行できることは、生徒たちが主体的に物事に取り組むことにもつながっていきます。今回の学年の団結を、11月9日(土)、10日(日)に行われる青垣祭(文化祭)にも生かしてほしいと思います。

【甲佐高生、いざ海外研修へ】

今年は、生徒たちが海外研修に参加する意識が昨年よりも高まり、貴重な経験を積む機会が増えました。

2年普通科の上田 雅昭君は、ライオンズクラブYCE(青少年交換)事業の派遣生に選ばれ、7月17日から8月17日までの1か月間、マレーシアでの海外研修に参加しました。マレーシアの文化に触れ、日本との違いを大いに経験したみたいです。1か月に渡る研修のため、身についた力を現在色々な場面で発揮してくれています。



3年ビジネス情報

科の堅島 涼平君は、甲佐町が主催する台湾との国際交流事業に8月上旬、3泊4日の日程で研修に参加しました。台湾の方々は、日本が大好きであり親日で知られていますが、台湾の方々との交流を通して、そのことを肌で感じてくれたのではないのでしょうか。



つい先日まで研修が行われていたのが、商業

関係学科で学ぶ生徒たちを対象とした、海外インターンシップの研修です。県全体で14名の高校生が海外インターンシップで研修を行いました。本校から2年ビジネス情報科の寺本 拓生君が選ばれ、アメリカのニューヨーク、ロサンゼルスで研修を積んできました。企業視察や現地高校生等との交流活動等を体験し、国際的な感覚と広い視野を身に付けてくれたようです。



3人の生徒たちは、今後は研修で学んだことを本校の生徒たちやご支援頂いた方々に報告等を通して還元していきます。今後も海外への研修を積極的に生徒たちに奨励し、グローバルな人材を育成していくと共に、地域を担う人財を育てていきたいと思っています。生徒たちがこのような研修を経験できたのも、多くの方々のご支援あってのことです。そのことに対しても、日々感謝の気持ちを持ち続けてまいります。ご支援、本当にありがとうございます。